

発行所: 株式会社じほう www.jiho.co.jp本社/〒101-8421東京都千代田区猿樂町1-5-15
支局/〒541-0044大阪市中央区伏見町2-1-1

© じほう2016

がん領域別にスペシャリスト育成へ

CROのインテリム

オンコロジー領域を中心に事業展開するCROのインテリム(大阪市、浮田哲州社長)は1月から、がん分野6領域の「領域別担当者創出」プログラムをスタートさせた。臨床開発の早期段階からのコンサルテーションが求められる状況に対応するため、領域ごとにスペシャリストを育成する。育成には1年間程度を見込む。

同社は2011年9月から「オンコロジーCRA認定制度」を立ち上げ、専門性の高い治験モニターを育成してきた。14年7月に同制度を「オンコロジー・スペシャリスト&エキスパート認定制度」に改訂。現在47人のスペシャリスト認定者と、顧問の西條長宏氏(日本臨床腫瘍学会元理事長)の口頭試問をパスした4人がエキスパートに認定されている。認定制度が定着して一定の規模に達したこともあり、認定者をさらにレベルアップして領域ごとのスペシャリストを育成する。

領域担当者創出について同社は、開発早期のコンサルテーションが受託可能になるとし、▽最新情報に基づく開発戦略の提案▽キー・オピニオン・リーダー(KOL)の最新動向を基にした適切な施設選定▽クライアントの提案にリアルタイムで対応—など

の意義を強調した。

担当者を育成する6領域は、呼吸器、消化器、婦人科、泌尿器、血液、肝臓(胆嚢、膵臓含む)。▽各領域関連のガイドラインなどの最新情報収集・蓄積▽施設の把握▽関連学会への参加と情報収集▽進行中の臨床試験と参加施設の把握▽現職でないKOLの情報の収集▽専門書籍などからの情報整理—などのノウハウを得させる。このうち関連学会への参加は、年内に行われる11会場15学会に延べ28人を参加させる。6月にシカゴで開かれるASCOにも参加する予定。

浮田社長は「オペレーションできる若い人材が育ってきたので、施設や医師らとプロトコールなどで高度なコミュニケーションがとれるようになる。症例数、手術件数、医師の技術力などの情報を蓄積し、データベース化も図りたい。こうした体系的な整備が行われることで差別化を図っていく」と意欲を示した。